

CLEAN CREW



美らら沖縄

(一社)沖縄県ビルメンテナンス協会

URL <http://www.obma.or.jp>

会 報

第28号

平成25年2月

年頭会長挨拶

一般社団法人

沖縄県ビルメンテナンス協会



会長
新垣 淑典

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、東日本大震災の復興の槌音が響き始めたかに思われましたが、原発問題・近隣諸国との領土問題の発生、県内でも、オスプレイの配備、アメリカ兵による暴行致傷事件等が大きな問題となりました。

このような国内外の問題が山積する中、年末には衆議院の解散総選挙を経て政権交代と慌ただしい一年となりました。

さて、沖縄県協会におきましては、公益法人改革法に基づき、平成二十四年四月一日付をもちまして、一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会として登記いたしました。

本年は、協会創立四〇周年を迎えます。協会員の大同団結の結果、業界の社会的地位向上、高度化するビルメンテナンス技術の取得等が認知されるようになってまいりました。

また、ここ数年来継続しています公益目的活動の柱となる社会貢献活動も軌道に乗っております。

しかしながら、業界を取り巻く環境は、県外業者および異業種からの参入や新規物件の減少、既契約の契約金見直しなど、厳しさは本年も続くものと考えます。

新春懇親会

平成二十五年一月三十日、沖縄都ホテルで開催、かぎやで風（国際ビル奥間さん）の幕開けに始まり新垣会長の協会、組合、賛助会員、政治連盟全組織の結束力で頑張りました。

この年頭挨拶に続き、仲井眞知事（与世田副知事名代）具志県会議員、儀間浦添市長、の方々からお礼と寿ぎの挨拶を賜り、井上全協九州地区本部長から引き続き業界よりの提案実行の挨拶を頂き、翁長自民県連会長の乾杯発声の後、参加者全員で美味しい料理を味わいながら、懇親で盛り上がりました。



また当日早朝より

創立四十周年を機に、さらに、協会員一丸となって、お客様に信頼され、社員に信頼され、社会の信頼・信用を得られる業界を目指し、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、協会員および関係各位のご多幸と、ご発展を祈念申し上げます。春のご挨拶いたします。

り、沖縄カントリークラブで親睦ゴルフ大会が行われました。

上位成績は左記の通りです。おめでとうございます。

優勝 玉城 芳信（株）クリード沖縄
準優勝 平良 哲（株）沖縄ダイケン
三位 新垣 淑典（沖縄ビル管理（株））



第九回環境衛生シンポジウム

第九回環境衛生シンポジウムが平成二十四年十一月二日に「ごみゼロ社会の実現へ」をテーマに沖縄県那覇市、県内マスコミ各社後援、沖縄県ビルメンテナンス協同組合協賛のもと、県立博物館、美術館講堂において開催しました。

冒頭新垣会長は「ごみ問題に対し、行政だけでなく我々業界がどのようなことが出来るかを考え、お客様に提案出来る機会になればと考えている」と挨拶。

続いて、那覇市環境部大城弘明部長が「那覇市のごみ減量の取組み」と題して基調講演を行なった。那覇市はごみ問題を解決するため、次世代型の焼却施設を整備し、ごみを効



率的に処理するとともに焼却灰も路面材として再利用していることを紹介。

また、ごみを出さない仕組み作りとして、家庭ごみの有料化、事業系ごみの分別の徹底とNPO法人と連携したリサイクル活動と小学生への環境教育の取組みを紹介した。「行政の力だけでは限界がある。市民、



事業者、行政の三者で取組むことが重要」と強調された。

パネルディスカッションでは、コーディネーターを沖縄美装管理(株)武村周児代表取締役社長が努め、パネリストに大城部長、沖縄リサイクル市民の会古我知浩代表、城間英樹協会理事の三人を迎え、行なった。

古我知代表は事業系生ごみを回収して飼料を作り、安全でおいしい豚を育てる「くいまるプロジェクト」活動を紹介。城間英樹理事は病院清掃従事者がごみ回収作業中に注射針で怪我をした事故事例を挙げ、予防と対策を講じたことなどを報告した。ディスカッションでは、行政、市民事業者など関係する人が垣根を越え

て互いに協力することが必要でありごみ問題に一人ひとりが向き合うことが重要であると言うことが話し合われた。



第一回「ソフトバレーボール大会」

日時…平成二十四年九月十五日(土)
場所…環境の杜ふれあい

参加チームは五社、六チーム
参加人数八十名の参加

沖縄ビル・メンテナンズ(株)

(株)沖縄ゼネラルサービス

沖縄ビル管理(株)

(株)沖縄ダイケン A

(株)国際ビル産業

(株)沖縄ダイケン B (順不同)



3位決定戦

沖縄ビル管理(株)対(株)沖縄ダイケン

Bで勝者は沖縄ビル管理(株)

決勝戦は、(株)国際ビル産業対(株)沖

縄ダイケンAで行われ一セットを(株)

国際ビル産業が勝ち圧勝で優勝かと

思われましたが、二セット目はお互

いにラリーが続き沖縄ダイケンAが

逆転し三セット勝負になり打って拾

って生き生きプレー(接戦)で会場

も盛り上がり応援でも双方の声援が

響き亘りました。お互いに一歩も譲

らず逆転に次ぐ逆転で(株)沖縄ダイケ

ンAが勝ちセットカウント二対一で

「優勝」を飾りました。

優勝 (株)沖縄ダイケン A

準優勝 (株)国際ビル産業

3位 沖縄ビル管理(株)



第十三回

ボウリング大会



十一月十五日(木) サラダボウル

にて、十九チーム(七十六名)が参

加してゲームを楽しみました。

☆上位の成績は次の通りです

受賞おめでとうございます。

団体優勝 (株)総合ビル管理

二位 (株)沖縄環境開発センター

三位 (株)沖縄ダイケン

個人優勝 宮城英人(株)総合ビル管理

二位 根岸 大(株)総合ビル管理

三位 末吉 靖(共栄ビル整備(株))

※会員の皆様の会場いっぱいに響き

渡る歓声と、笑顔がとても素敵

でした。景品をご提供いただき

ました各社様、ありがとうございました。



特別支援学校職員清掃講習会

事業委員会委員 宮里幸充

西崎特別支援学校の依頼により

『生徒の就労支援に向けた指導の充

実』のため、担当教師を対象に『正

しい清掃方法を知る』、『身近な所の

清掃の仕方』と題し、協会のビルク

リ講師が、清掃の基本的事項の講義

及び実技指導を実施しました。



『ビルクリーニングの五原則』を

座学・講義し、実技研修では ①教

室、廊下清掃班 ②トイレ清掃班、

③ガラス清掃班に分かれ、各担当講

師から指導が実施されました。

研修後には参加された皆様から

感謝され、短い研修時間でありま

したけれど充実した講習会となり

ました。

第十二回
九州地区ビルクリーニング技能競技大会

去る平成二十四年十月十八日(木)熊本県熊本市流通情報会館展示場に於いて、全九州八県より選抜された十六名(各県二名)のビルクリーニング技能士による技能競技大会が行われました。

各県から選抜されたより優れた選手の技を競う白熱した戦いとなりました。当該競技優勝、準優勝者は来年十月、さいたまスーパーアリーナで、開催される第十三回全国大会の九州代表選手となります。

結果、沖縄県選出上原隼人(株)沖縄ダイケン)選手が熊本市長賞(準優勝)で見事、沖縄県から初めての九州代表となりました。榮山晃平(株)国際ビル産業)選手は九州ビルメンテナンス連絡協議会長賞でした。



「美ら島環境美化全県一斉清掃」

毎年恒例である、「第一回ちゅら島環境美化全県一斉清掃」を平成二十四年九月九日に協会会員・賛助会員家族含む一七二人が参加し行いました。

パレットくもじイベント広場を起点に四班に分かれ、ごみや空き缶、たばこの吸殻にいたるまで細かく回収し集積場である公園にて分別しました。

可燃ごみと不燃ごみ合計で三七袋の量を回収しました。

国際通りを中心としたコースで年々きれいになっている印象がありますが、実際回収してみるとその量に驚きました。

約二時間の作業を終えた後は会員の親睦と参加した皆さんの労をねぎらい波の上ビーチでバーベキュー大会を実施、スイカ割りなどで楽しいひと時を過ごしました。

「第二回のちゅら島環境美化全県一斉清掃」は平成二十四年十二月十六日に那覇市民憲章推進協議会年末清掃の後援として会員二十五社一五六名が参加し新都心全域の清掃を行いました。

我々協会員及び賛助会員は落書き・シール剥がしを中心に清掃を実



施。那覇市より専門知識や技術者の派遣に関し感謝の言葉を頂きました。

毎年十二月の清掃は各市町村の主要地域で実施しておりましたが、今回、ビルメンテナンスの技術を生かしたボランティア清掃が行えたことは大変有意義なことだと思えます。

この実績を青年部活動に生かしていくべく、今後とも協会会員・賛助会員関係各位のご協力を宜しくお願いいたします。



平成二十四年度

労働安全衛生大会

十月二十六日に浦添市産業振興センター結の街で協会・賛助会員・組合員・一般計三十七社一〇七名の参加者で開催、大会は、労働災害物故者への黙祷から始まり新垣淑典協会長の挨拶、続いて来賓の稲毛健一沖縄労働局健康安全課長の祝辞、労働災害の状況の説明があり、いなり労働衛生コンサルタント事務所伊波恒雄所長による「労働者の生活習慣を考える」のテーマで講演を頂きました。

その後安全標語入賞者表彰を行い(株)リード沖縄宮城タカ子氏の「気を抜くな毎日変る危険箇所」が優秀賞に選ばれました。最後に労働災害



「ゼロ」を目指し、労働安全宣言を参加者全員で唱和し大会を閉会しました。

協会活動日誌

日 時	活動内容	参加数	参加者	備 考
8/2	県立病院ラウンドチェック水準調整会議	9名	品質評価・最先端清掃品質部会	協会 2F 会議室
8/10	第2回理事会	14名	会長・理事・監事	沖縄県卸商業団地組合 会議室
8/22	労働安全パトロール	5名	労働安全委員	沖縄美ら海水族館施設
8/24	県立西崎特別支援学校清掃講習会	20名	小・中部職員	西崎特別支援学校
8/28	ハードフロアメンテナンス講習会	27名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
9/4	第1回交流ソフトバレー大会監督者会議	12名	委員・監督	協会 3F 研修室
9/6	清掃作業従事者研修講習会(北部)	17名	講師・受講者	名城大学 研究棟
9/7	県立病院ラウンドチェック	9名	事業委員・品質評価部会員・最先端清掃品質部会員・病院側・担当者	県立6病院
9/15	第1回交流ソフトバレーボール大会	80名	会員	環境の杜ふれあい
10/10	清掃作業従事者研修講習会(中部)	20名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
10/11~12	清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)	50名	講師・受講者	ポリテクセンター沖縄
10/16	ビルクリーニング講師部会	5名	講師部会	協会 2F 会議室
10/26	平成24年度労働安全衛生大会	107名	会員・非会員	浦添市産業支援センター
10/26	貯水槽清掃講師部会会議	3名	講師部会	協会 2F 会議室
11/1	第3回理事会・代表者会議	37名	会長・理事・監事・代表者	沖縄県卸商業団地組合 会議室
11/13	防除作業従事者研修会	54名	講師・受講者	那覇地域職業訓練センター
11/15	清掃作業従事者研修講習会(那覇)	20名	講師・受講者	九州沖縄トラック研修会館
11/15	第13回ボウリング大会	76名	会員	サラダボウル
11/21	第9回環境衛生シンポジウム	150名	一般・会員・賛助会員	県立博物館・美術館講堂
11/26	平成24年度ビルクリーニング技能検定受講対策講習会パート1	9名	講師・受講者	協会 3F 研修室
11/29	ビルクリーニング実務責任者セミナー	10名	講師・受講者	宜野湾市民体育館会議室
12/3	貯水槽清掃作業従事者研修会	73名	会員・一般	浦添市産業支援センター
12/10	平成24年度ビルクリーニング技能検定受講対策講習会パート2	9名	講師・受講者	協会 3F 研修室
12/16	平成24年度第2回ちゅうら島全県一斉清掃	156名	会員・自治体	那覇市新都心公園
12/19	第4回理事会	12名	会長・理事・監事	沖縄県卸商業団地組合 会議室
12/27	三役・各正副委員長会議	16名	三役・正副委員長	沖縄都ホテル
1/9	カーベットクリーニング講師部会	2名	講師	協会 2F 会議室
1/9~12	平成24年度ビルクリーニング技能検定受講対策講習会パート3	9名	講師・受講者	協会 3F 研修室
1/28~30	平成24年度ビルクリーニング技能検定受講対策講習会パート4	9名	講師・受講者	協会 3F 研修室
1/30	平成25年度新春懇親会	130名	会員・賛助会員・来賓	沖縄都ホテル



現場で働く皆さんの生の声をお届けします。質問内様は
①入社して何年目ですか？
②現場での苦労は？
③今後の抱負は？

沖縄ビル・メンテナンス株式会社

設備副責任者 喜屋武 長一

①一年九ヶ月

②私は、恩納村にある沖縄科学技術
大学院大学というところで設備管



理の業務に従事しております。この施設は、教学施設と研究施設を併せ持った世界最高水準の国際的な科学研究施設です。この施設を如何に快適で最良な空間に維持していくかが、設備管理上重要となつてきます。特に各研究施設の温湿度管理の調整は毎日の欠かせない業務となっております。神経を使う仕事でもあります。日々新しい事象と向き合い勉強していくことは、自分の技術向上にも繋がると思い毎日頑張っています。

③設備員相互、各セクション間のコミュニケーションを密にし、研究職員や大学院大学関係者に、より快適な環境を提供できるよう努力してまいります。

有限会社環境整備

屋宜すま子（現場責任者）

①入社して二〇年になります

②嘉手納基地内、各施設のキッチン
フードダクトクリーニングの業務
を行っています。

キッチンでの作業となりますので、厨房資材等に傷を付けないように注意しないといけません。食材等もあったりしますので養生したりとても気を使います。

また、夜間で高所作業が多い仕事



なので、安全作業を常に意識しています。キッチンのダクトは各施設によって作りが異なるなど難しい場所もあったりします。

清掃方法を変えたり、必要道具を現場に合わせたりで大変な作業となりますが、スタッフ一丸となつて協力してダクト火災に繋がらないよう清掃を心がけております。

③スタッフの安全を第一に、お互い協力して頑張つて参ります。

◆◆会員動向◆◆

【退会】

有限会社玉城サービスカンパニー
代表取締役 玉城 源栄
（平成二十四年十一月三十日）

◆◆編集後記◆◆

新年あけましておめでとうございます。

東日本では、未曾有の大災害からまもなく二年が過ぎようとしていきます。まだまだ災害復興が続いており、被災された方々のご苦労を思うと、一日も早い復興を心より願います。

昨年はオリンピックでの、日本人選手の素晴らしい活躍がありました。年末には慌ただしく政権交代があり、景気回復に向かうよう期待します。

その波に乗り飛躍できる一年でありますよう、協会員一丸となり、プロ意識と誇りを持ち事故のない作業に勤め、今年一年がんばりましょう。

◆発行責任者 新垣淑典

（沖縄県ビルメンテナンス協会会長）
那覇市曙二丁目二十七番十四号
電話〇九八（八六一）二七四二